

当社初、オフサイト型バーチャル PPA による再エネ電力の導入 ～約 43,000 トン/年の CO₂削減に貢献～

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）は、中部電力ミライズ株式会社のオフサイト型バーチャル PPA サービス※¹を通じ、バイオマス発電によって生み出される再エネ電力の導入を開始しました。当社の電力消費量の 10%に相当する環境価値を購入することで、年間で約 43,000 トンの CO₂ 削減に貢献します。

当社は、2030 年ビジョンの経営指針の一つとして「持続可能な地球環境への貢献」を掲げており、2050 年度までのカーボンニュートラル（以下、CN）早期実現を目標に、「省エネの深化・追求」「再生エネルギーの活用」「脱炭素技術の開発・導入」を軸としたロードマップに基づき計画的に取り組を進めています。

今回導入した再エネ電力は、「再生エネルギーの活用」に向けた取り組みの一つで、今までも「FIT 非化石証書※²購入」および「CN な都市ガス導入」などを通じて積極的に推進してきました。その結果、現在では、7 つの工場のうち 5 工場（関、岐阜、東浦、電子部品、刈谷）において、既に実質的な CN を実現しており、そのうち 3 工場（関、岐阜、東浦）では、オンサイト PPA※³を活用した太陽光発電の稼働により、年間で約 700 トン以上の CO₂削減を達成しています。引き続き再エネ電力への転換を進め、CO₂削減および CN 実現に向けた取り組みを今以上に加速させていきます。

今後も当社は、「環境に一番やさしい鉄屋」として、再エネの活用に加え、技術開発や地道な省エネ活動、生物多様性保全などを網羅的かつ積極的に推進し、持続可能な地球環境への貢献を目指していきます。

- ※ 1 敷地外に設置した再エネ電源で発電された電気由来の環境価値（CO₂排出量ゼロであることを示すことができる価値）のみを提供するサービス
- ※ 2 FIT 制度（太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスなどの再生可能エネルギーで発電した電気を、一定価格で一定期間買い取ることを約束する制度）を通じて買い取られた FIT 電気の非化石価値を証書にしたもの
- ※ 3 発電事業者が需要家の敷地内に発電設備を設置し、電気を提供すること

